

北澤 憲昭著

アヴァンギャルド以後の工芸

「工芸的なものをもとめて」

一九八六年にパリのボンビドー・センターで『日本前衛 1910-1970』と題する大規模な展覧会が開かれた。会場では「具体」に、注目が集まった。所詮本場の模倣や亜流と蔑視される絵画や彫刻ではなく、その枠組みをはみ出した造形や、周辺領域での前衛的造反が人気を呼んだ。工芸的素材と前衛的形態との野合に、日本の前衛が認知される。だが日本側当事者は「工芸的」という形容を、露骨に嫌悪する。いったい「工芸的」とは何なのか。評者のそんな年来の疑問が、いかに素朴な疑問かを痛感させたのが、北澤憲昭の「工芸」である。ちゅうど「日本の前衛」の頃、『眼の神殿』を世に問うて、明治期日本に欧米舶来の「美術」という制度が移入・着床し

いかに「シーラカンス」とつきあうか

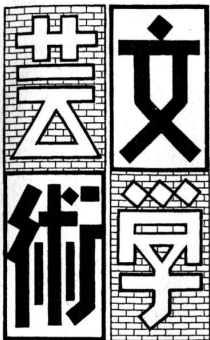
「工芸」の考古学から「美術」の彼岸へ

稲賀 繁美

「工芸」と呼ばれる範疇だ。それが今日
「工芸」を善しとする。ここに権している。アート・シー
今日、前衛の境界侵犯の権能は、既に失
「工芸」とは何なのか。評者のそんな年来の疑問が、いかに素朴な疑問かを痛感させたのが、北澤憲昭の「工芸」である。ちゅうど「日本の前衛」の頃、『眼の神殿』を世に問うて、明治期日本に欧米舶来の「美術」という制度が移入・着床し

た経緯を摘出してみせた北澤は、本書で「美術」の埒外に排除された領域に注目する。△ナショナリズムの後の層を得て、絵画や彫刻の「工」という蛹から羽化する。△一八八〇年代、△美術と工業の重なり合う部分から急進に瘦せ細った。工業が急速に瘦せ細った。工業が、人間国宝として珍重され、中々に迷い、両れもする。どうして両者はこうも相いれない世界に分

で、社会的にも屈辱を嘗め能と弁え、△開かれた形ゆえに作品としては弱くならし、美術と工業と生活との間に三角形の斥力の産物に過ぎぬ。△工芸には、理念による主張するよりは、あるいはここに露呈する前衛と工芸のすれ違いが、『前衛の日本』の教訓でもあった。だが、時代が産業社会から情報社会へと変貌を遂げ、△現代に「工芸」の機縁を洗いだし、それを育みつづ、そこから学ぶ姿勢に、△工芸の使命を見いだす。工芸によって美術を奪奪する覇権志向ではなく、△工芸の鬼門たる工芸を手掛かりに、外来征服者たる△美術という制度の抑圧構造を露呈させ、△快樂原則に則る商品経済市場を静かに攪乱する△弱さの可能性を探る。ここには△前衛の残骸に降り立った天使による、△あらゆる造形思考への果敢な挑戦が、同時代への厘理な証言となって結実している。(いなが・しげみ氏「国際日本文化研究センター」総合研究大学院大学助教授・美術史・東西交渉史専攻)

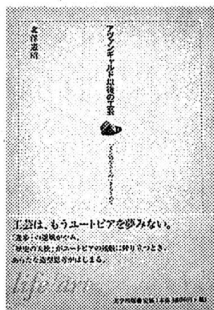


「工芸」の考古学から「美術」の彼岸へ
離されてしまったのか。そこを善しとする。ここに権している。アート・シー
今日、前衛の境界侵犯の権能は、既に失
「工芸」とは何なのか。評者のそんな年来の疑問が、いかに素朴な疑問かを痛感させたのが、北澤憲昭の「工芸」である。ちゅうど「日本の前衛」の頃、『眼の神殿』を世に問うて、明治期日本に欧米舶来の「美術」という制度が移入・着床し

た経緯を摘出してみせた北澤は、本書で「美術」の埒外に排除された領域に注目する。△ナショナリズムの後の層を得て、絵画や彫刻の「工」という蛹から羽化する。△一八八〇年代、△美術と工業の重なり合う部分から急進に瘦せ細った。工業が急速に瘦せ細った。工業が、人間国宝として珍重され、中々に迷い、両れもする。どうして両者はこうも相いれない世界に分

で、社会的にも屈辱を嘗め能と弁え、△開かれた形ゆえに作品としては弱くならし、美術と工業と生活との間に三角形の斥力の産物に過ぎぬ。△工芸には、理念による主張するよりは、あるいはここに露呈する前衛と工芸のすれ違いが、『前衛の日本』の教訓でもあった。だが、時代が産業社会から情報社会へと変貌を遂げ、△現代に「工芸」の機縁を洗いだし、それを育みつづ、そこから学ぶ姿勢に、△工芸の使命を見いだす。工芸によって美術を奪奪する覇権志向ではなく、△工芸の鬼門たる工芸を手掛かりに、外来征服者たる△美術という制度の抑圧構造を露呈させ、△快樂原則に則る商品経済市場を静かに攪乱する△弱さの可能性を探る。ここには△前衛の残骸に降り立った天使による、△あらゆる造形思考への果敢な挑戦が、同時代への厘理な証言となって結実している。(いなが・しげみ氏「国際日本文化研究センター」総合研究大学院大学助教授・美術史・東西交渉史専攻)

★きたむ・のりあき氏は美術評論家・跡見学園女子大学教授。著書に『眼の神殿』『岸田劉生と大正アヴァンギャルド』『境界の美術史』『日本画の転位』など。一九五一年(昭和26)年生。



46判・500頁・3800円
美学出版
4-902078-00-7 超